

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

研究開発課題名	「標的酵素による活性化」のコンセプトに基づく抗 HIV 共有結合医薬
代表機関名	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学
研究開発代表者名	木村 康明
全研究開発期間	令和元年度～令和3年度

1. 研究開発成果

事後報告書(下 URL)参照

<https://www.amed.go.jp/content/000101258.pdf>

2. 総合評価

・ やや良い

【評価コメント】

標的酵素により活性化されることで共有結合的に作用する抗 HIV 薬の創製を目指し、様々な検討を精力的に進めた。細胞の違いによる影響等、興味深い知見も得られているが、必ずしも期待する結果が得られたとは言えず、コンセプトを創薬に活用する検証の道筋が明確ではない。

今後、コンセプト検証を継続すると共に、細胞毒性のない、高活性の誘導体探索検討を行い、「標的酵素による活性化」に基づく抗 HIV 共有結合医薬の開発に資するユニークな創薬基盤技術を構築されていくことを望む。

以上